



5月も終わりとなりました。子ども達は、砂場で砂や水の感触を楽しんだり、トイに草を水で流して「流しそめんだ」と楽しんだり、遊戯室いっぱい使って自分の作ったものをウチワの風で転がしたり、フリスビーを飛ばしたり……。それぞれのクラスで、楽しい遊びが繰り広げられています。そうした中では、友達とバケツの取り合いをしたり、足を洗う時は順番に並ぶことを覚えたりする年少さん。そうめん流しや生き物への興味など、クラスの友達と同じようなイメージやめあてをもって楽しもうとする年中さん。『風』への興味がクラスに広がり、いろいろな遊び方を思いついたり、試したり、友達と考えを伝え合ったりして遊ぶ年長さん。どのクラスでも、その時期の子ども達の学びが見られます。担任は、一人一人がやりたいことを十分にできるように支えたり、クラス全体としての遊びが楽しくなるように、毎日奮闘しています。

日によっては、夏を思わせるような暑さになることもあります。熱中症には十分気を付け、マスクは適宜はずしたり、水分補給をしたりしていこうと思います。

玉ねぎの収穫をしました

5月20日(金)に、昨年度に幼稚園の畑に植えた玉ねぎの収穫をしました。今年度も、畑の耕作や栽培のお手伝いやご指導をいただく元保護者の方に、玉ねぎの抜き方を教えてもらって、さっそく年中・年長児が張り切って抜きました。が、しっかり植わっていてなかなか抜けません。力いっぱい引っ張って、しりもちをつく子も……。だんだんコツがわかってきたのか「見て！大きいのがとれた」「たくさんあるね」と、大喜びで収穫しました。全部で114個取れたので、一人2個ずつお土産に持ち帰り、後はカレーパーティやクッキングなどで美味しくいただきたいと思います。

玉ねぎの数を数えたのは、年長さん

抜いた玉ねぎを遊戯室のブルーシートに並べました。年長児に「何個あると思う？」と聞いたところ「50個」「60個」「38個」「100個」……。知っている数を口々に言いました。「どうしたら何個かわかるかな」と聞くと「数えたらいい」と子ども達。①「どうやって？」②「みんなで1個、2個って数える」③「でも、途中で数を忘れたり、わからなくなったりしない？」④「……」みんなで考えこみました。すると、一人の子が「みんなが別のところから数えればいい」また別の子が「数えた玉ねぎを違う場所へ置いておく」また別の子は「一人が4個ずつ持てばいい」と、どんどん自分の考えを出してきました。⑤「みんないい考えだね、じゃあ、4個よりみんなの指の数の5個ずつにしない？」という「いいね」「そうしよう」と、とても張り切って自分の手を広げ、5本指を見てから5個ずつ玉ねぎを数えて、別の場所へ置き始めました。終わったので、「5個と5個を合わせると何個になるかわかる？」と聞くと「10個！」と答えたので、みんなが5個のかたまりにした玉ねぎを合わせて10個の玉ねぎのかたまりを作って、みんなで「10個、20個、30個……」と数え、114個あることが分かりました。「うわあ、たくさんあったね」とみんなびっくりでした。

私が驚いたのは、子ども達が自分達で数え方を考え、それを出し合い、行動に移したことです。そして、5個や10個の集まりとしての数が分かるというのは、小学校の足し算や引き算、掛け算にとっても大事なことです。(小学校の先生に聞きました)この集まりとしての数が感覚としてわかると、算数でスムーズに理解できるそうなのです。幼稚園では、決して小学校の練習ではなく、遊びや生活の中で、文字や数に親しむ体験を重ね、自らの必要感に基づいて数えたり、文字などを読んだりし、自分達の生活が楽しくなる体験や感覚をもてるようにしていきたいと思いました。



園庭の草刈りをさせていただきました。

幼稚園の園庭は広々としていますが、草ものびのびと生えてきます。ぴかぴかデーに子どもと一緒に草を抜いたり、職員で手の空いた時に抜いたり、平田・国富・西田小学校の校務員さんが月1回草刈りをしたりしてくださいますが、夏の奉仕作業までに草だらけになるなど困っていました。すると、昨年度で幼稚園の園長を退職された平田在住の方が、「草刈り、してあげるわ」と、きれいに刈ってくださいました。次の日、園庭で遊んでいる子ども達が「お庭、きれいになったね」と言って、気持ちよさそうに走っていました。のびのびと遊ぶために、環境を整えることの大切さを改めて感じました。お世話になりました。

